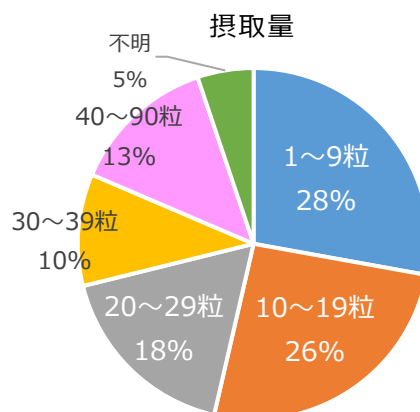
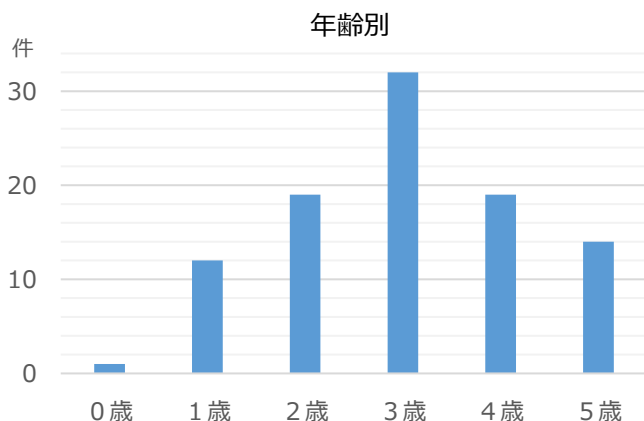


グミタイプのサプリメントの子どもの誤食に注意しましょう！



近年、イチゴ味やグレープ味など、お菓子のようなサプリメントが多く販売されています。中毒110番では、その中でもグミタイプのサプリメント（鉄分、ビタミン類、亜鉛、肝油など）を5歳以下の子どもが誤食した事故の相談件数が増加しており、2024年は15件、2025年は6月までで23件と昨年の件数を上回っています。年齢別では3歳以上が7割を占め、味をおいしいと感じて摂取している状況がうかがえます。10粒以上を食べた相談が67%を占め、最大で90粒食べたケースもありました。手軽に摂取できる一方、味やパッケージがお菓子に似ていることから、子どもがたくさん食べてしまう危険があり注意が必要です。

グミタイプのサプリメントの問い合わせ件数（2020～2025年6月、5歳以下、n=97）



● 次のような相談があります。

「机の上に置いていた親のグミタイプのサプリメントを、子どもがお菓子だと思って食べた」

「高い棚に保管していたグミタイプのサプリメントを、子どもが椅子にのぼって取り、隠れてたくさん食べた。」

「子どもに食べさせるため、グミタイプのサプリメントを袋ごと手渡したところ、1袋分全てを食べた。」

● 事故防止のために以下の点に注意しましょう。

- ・サプリメントは子どもの目の届かない場所に保管しましょう。高い場所に置いていても、椅子や台を使用して取ってしまう場合があります。
- ・サプリメントを子どもに与える際は、親の管理のもとで必要な量だけを渡しましょう。

事故が発生し、医療機関を受診すべきか判断に迷った場合は中毒110番にご相談ください。

公益財団法人日本中毒情報センター 中毒110番電話サービス（一般向け 365日 24時間対応）

■ 大阪中毒110番 072-727-2499 ■ つくば中毒110番 029-852-9999

本資料を引用又は使用して資料作成・報道等を企図される場合は、必ず事前にその内容について日本中毒情報センター（本部事務局 電話：029-856-3566）の承諾を得、「公益財団法人 日本中毒情報センターの調査による」旨明記して下さい。